

広報・教育部門

応募事例名

職員のアイデア満載！

子ども大人も楽しく体験しながら学べる出張下水道教室

応募団体名)千葉市

応募事例の概要

職員が考案した体験型コンテンツを通じて、楽しみながら下水道のしくみや重要性を学べる出張下水道教室を実施。ユニークなアクティビティ(カメラ調査体験やマンホールストラックアウトなど)を通じて、子どもから大人まで幅広い層に下水道の役割や事業の取組みを伝え、下水道への理解を深めていただいた。

応募事例の内容

カメラ調査デモンストレーション、マンホールストラックアウト、顕微鏡で微生物観察、水の汚れをとる実験、雨水貯留タンクやデザイン蓋の実物展示、下水道シールラリーなど様々なコンテンツを職員が考え、準備した「出張下水道教室」をイベントに出展し、下水道事業の取組みを市民にPRしている。

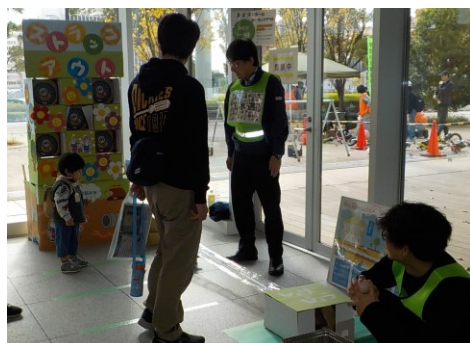
【カメラ調査デモンストレーション】

【マンホールストラックアウト】

【雨水貯留タンク実物とパネル展示】



下水道管の中にアニメキャラクターのイラストやうんち型のおもちゃを隠し、カメラ操作と映像で何があるかを当てもらうことで、カメラ調査による下水道管の点検・調査をPR。



うんちに見立てたボールをデザイン蓋の的に当てると、ボールが透明な下水道管を通して、足元の処理場に運ばれる。トイレの水はどこに行くの？の疑問を楽しく学んでもらう。



タンク設置の助成制度パネルは、設置のメリットを、しかけ絵本のようにめくって見るように工夫。隠されているとめくりたくなるので、子どもだけでなく、大人にも興味を持って見てもらえた。

PRポイント 未就学児を連れたファミリー層が多いイベントなので、未就学児が興味を持ち、楽しみながらも、下水道がどのようなものか、下水道の役割や大切さを理解してもらえるよう、職員が工夫してコンテンツを考えた。マンホールストラックアウトは職員が段ボールで手作りしたものだが、準備から当日の運営もすべて職員で行い、来場者と直接やりとりをしながら下水道事業をPRしている。

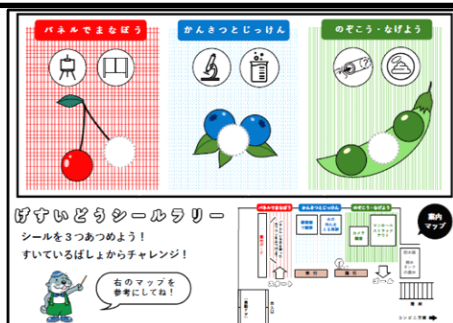
取組に関するエピソード

子どもが楽しく参加してもらえるよう、コンテンツを体験してシールを集めてもらう「シールラリー」を実施。コンプリートした人には福引で啓発品をプレゼント！シールラリーやティッシュの台紙も職員の手作りです！



シールラリー台紙→

←ポケットティッシュ台紙(両面印刷)



下水道営業課、主査、
三枝由美子